

## 平成13年度試験研究成果

区分	普及	題名	県有優良種雄牛「北孝福」の作出				
〔要約〕 平成13年11月末日までに間接検定を終了した4頭のうち「北孝福」が優秀な成績を収めたため、県有種雄牛に選抜し、凍結精液の販売を開始した。							
キーワード	黒毛和種	間接法	種雄牛	畜産研究所種山畜産研究室			

### 1. 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進し黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

### 2. 技術の内容

産肉能力検定(直接法)で選抜された種雄候補牛の産子を同一環境下で肥育(間接法)を行った結果、「北孝福」の成績は1日あたり増体量(DG)が0.82kgと全国平均に及ばなかったものの、ロース芯面積は51cm<sup>2</sup>、BMSは3.0と特に優れていたため、県有種雄牛に選抜し凍結精液の利用を促進する。

### 3. 普及上の留意事項

#### (1) 検定種雄牛の概要

登 録			直接検定		血 統			
名 号	番 号(得点)	生年月日	年度	D G	父	母の父	母方祖母の父	産地
北 孝 福	黒原 3615(84.2)	H9.8.5	平 9	1.37	正 福	寿 高	裕 徳	大迫町

#### (2) 検定期間および検定方法

検定期間：平成12年8月25日～13年8月24日 364日間

検定方法：去勢牛8頭を1群として肥育管理し、と畜後全国和牛登録協会の検定員による産肉能力調査を実施した。

#### (3) 給与飼料

濃厚飼料：間接検定用飼料(DCP 10.0%、TDN 73.0%)を飽食給与。

粗飼料：稲ワラ(切りワラ)を濃厚飼料に10%混入給与。禾本科乾草を飽食程度給与。

#### (4) その他

現場肥育成績は平成14年2月～4月頃判明予定

### 4. 技術の適応地帯

県内一円

### 5. 当該事項に係る試験研究課題

(235) 「黒毛和種産肉能力検定(間接法)」(H1～、国庫)

### 6. 参考文献・資料

(1)(社)全国和牛登録協会 産肉能力小委員会資料 2001.9.

(2)(社)全国和牛登録協会 種雄牛の各種検定法について 1995.9

(3)(社)全国和牛登録協会 和牛種雄牛産肉能力検定成績 間接法

7. 試験成績の概要

(1) 検定成績

調査年月日：平成 13 年 8 月 30 日

検定 番号	母の父	母方祖父	終了時 体 重 (kg)	D G (kg/日)	枝 肉 重 量 (kg)	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラの 厚 さ (cm)	皮 下 脂肪厚 (cm)	脂 肪 交 雑	枝 肉 格 付
1	牛若丸	糸 姫	増 体 不 良 の た め 検 定 中 止							
2	金 鶴	寿 高	595	0.82	362	49	6.3	1.7	3	A 5
3	照 本	宮 桜	517	0.74	317	50	6.2	1.5	3	A 4
4	義 経	菊 谷	495	0.67	306	44	5.3	1.8	3	A 5
5	菊 谷	和 人	522	0.75	323	50	5.5	1.7	4	A 5
6	茂 宏	寿 高	649	0.94	377	52	5.9	2.4	4	A 5
7	正 福	寿 高	626	0.94	370	55	5.3	1.3	2 <sup>+</sup>	A 4
8	谷 照	福 昌	616	0.88	375	55	5.8	2.0	2	A 3
平 均			574	0.82	347	<b>51</b>	5.8	1.8	<b>3.0</b>	
全国平均 229 頭(27 セット)			595	0.91	354	49	6.3	1.9	2.5	